

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6年 2月 22日

事業所名： ネウボラロッツ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		ST・OTなどに合った訓練室が用意されている。	・同時間に個別・訓練2件と相談が重なった場合など部屋が足りなくて困ることがある。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		・基準より多く配置している日も多く、手厚い体制となっている。	・シフト制に変わり改善されてきている。 ・セラピストが個別支援で抜ける時に療育担当人数が足りないことがある。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		・特性に合わせた各部屋での視覚支援がされている。 ・視覚での情報提示が分かりやすい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		子どもたちの活動に合わせた空間になっている。	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのP D C Aサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		日々子どもの経過を話し合いミーティングが出来ている。	業務改善にあたり職員の意見が十分届いているわけではない。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者からの意見を傾聴し意向している。 ・保護者向け評価表はまだ見たことがありません。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			今後に向けて検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		折々に研修（勉強会）を実施していただき、外部の研修にも参加させていただきありがとうございます。	

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		アセスメント結果を計画に反映できるよう意識して作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		使用できていると思います。	
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		多職種の意見をふまえ、支援に必要な項目が適切に選択されていると思います。	
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○		・計画に沿った支援がされている。 ・計画内容を意識して支援を行っています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節の合わせ活動内容を変えたり、年齢に合わせても変えている。	
	16	(放課後等デイサービスののみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか				
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝のミーティングで短めに打ち合わせをしている。	
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		時間に余裕があると子どもの支援の振り返りが出来ている。	必ず打ち合わせが出来ている訳ではないです。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・経過支援の記載を毎日行って日々の様子を記録している。 ・経過支援に詳しく記載し次回見返すように次回見返すようにしています。	
21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		数か月に1回は見直しをしている。		

	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ 合わせて支援を行っているか				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議 にその子どもの状況に精通した最もふさわし い者が参画しているか	○			
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っているか	○		行っている印象です。	
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の 交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調 整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡) を適切に行っているか				
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等 の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制 を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼 稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、 支援内容等の情報共有と相互理解を図ってい るか	○		・情報共有と相互理解で きている。 ・訪問や電話連絡にて行 えていると思います。	
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小 学部)との間で、支援内容等の情報共有と相 互理解を図っているか	○		・保育所等訪問で訪問し たり巡回相談に来ていた だくことで情報を共有し たり相互理解を計ってい る。	
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども 園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で 情報共有と相互理解に努めているか				
31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する場 合、それまでの支援内容等の情報を提供する 等しているか					

の 連 携	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		送迎時、個別懇談、連絡帳などを活用し保護者の心配事など話合っている。	
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		月に1回保護者学習会を行っている。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	37	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		入所・契約時に説明している。	
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○		個別懇談を行い支援内容を説明し同意を得ている。	
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		個別懇談や保護者からの子育てなどの悩み等適宜相談に応じ必要な支援を行えるようにしている。	
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会はないが学習会や親子のイベントを作り交流出来る機会を作っている。	
	41	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談の申し入れがあった場合迅速に対応している。	
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に1回お便りを発行している。また、SNSを利用して保護者向けに配信している。	

	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		事前に文章で同意書を得ている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		情報が分かりやすく提供されるように視覚支援などを工夫して活用している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		・園庭開放など ・夏祭りや園庭開放	
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		・会議などで感染症対策を周知している。 ・玄関に閲覧できるファイルを置くなどして保護者向けに周知している。	
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・避難訓練は月1回実施。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		・確認しているが現状服薬している子どもはいない。 ・自分は出来ていないので意識して情報収集しようと思いません。 ・	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・医師の指示書に基づき対応している。	
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		・朝のミーティングなどで共有している。 ・閲覧できるようにしている。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・虐待防止委員会を設置し開催している	
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		・身体拘束について事例検討会をして、会議で話し合ったり、個別支援計画等で保護者に説明し同意を得ている。	

○ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。